

JIS

UDC 661.183.2.099.2 : 543.7

K 1474

活性炭試験方法

JIS K 1474-1991

平成 3 年 11 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和50.9.1 改正：平成3.11.1

官報公示：平成3.11.2

原案作成協力者：日本無機薬品協会

審議部会：日本工業標準調査会 化学製品部会（部会長 中島 利誠）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部標準業務課 産業基盤標準化推進室（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

活性炭試験方法

K 1474-1991

Test methods for activated carbon

1. 適用範囲 この規格は、工業用の活性炭の試験方法について規定する。

備考1. 粒径が150 μm 未満のものを粉末活性炭、粒径が150 μm 以上のものを粒状活性炭とする。

2. この規格の引用規格を、付表1に示す。

3. この規格の中で、{ }を付けて示してある単位及び数値は、従来単位によるものであって参考として併記したものである。

2. 試験項目 試験項目は、次のとおりとする。

(1) 吸着性能

(1.1) 液相吸着における吸着等温線の求め方

(1.2) 溶剤蒸気の吸着性能

(2) カラメル脱色性能

(3) 粒度

(4) 粒度分布 (有効径及び均等係数)

(5) 硬さ

(6) 発火点

(7) 充てん密度

(8) 乾燥減量

(9) 強熱残分

(10) pH値

(11) 塩化物

(12) 鉄

(13) 亜鉛

(14) カドミウム

(15) 鉛

(16) ひ素

試験項目(1)～(16)は使用目的に応じて決める。

3. 試料採取方法 試料の採取はJIS M 8100, JIS M 8811に準じ、全体を代表するように採取する。

4. 一般事項 試験において共通する一般事項は、JIS K 0050, JIS K 0115, JIS K 0121及びJIS K 0124による。

5. 試験方法

5.1 吸着性能 吸着は液相吸着と気相吸着があり、液相吸着はよう素とメチレンブルーを代表にして吸着等温線に